## 行政調査報告書「市民文教常任委員会」

平成 25 年 7 月 22 日 (月) ~24 日 (水)

## ■佐賀県佐賀市「フューチャースクール推進事業及び学びのイノベーション事業によるICTを 活用した授業への取り組みについて

「フューチャースクール推進事業(総務省)」及び「学びのイノベーション事業(文部科学省)」実証校としてICT技術の活用に取り組み、子どもの学習意欲を向上させ学力の向上を図り、教師の授業準備時間の縮減と多忙化を解消し、子どもと触れ合う時間の確保を教育目的としている。



訪問した西与賀小学校では、SE等専門家の支援を受け、

全学年対象として各教室に電子黒板15台、タブレットパソコン285台を配置し授業に活用することにより、子どもの理解度に合った落ちついた学習、プレゼンテーション能力など説明的発言の増加、学力向上が認められるとともに、教える側にも指導力の向上、残業時間の低減などの効果がみられた。

本市においても、教育現場の実情に合ったICT技術の効果的な導入と推進が望まれる。

## ■佐賀県武雄市「武雄市図書館について」



「市民の生活をより豊かにする図書館」をつくる構想のもと、「TSUTAYA」を運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(CCC)を指定管理者として平成25年度にリニューアルオープン。リニューアルの内容としては、開架図書を従来の2倍にし、壁面いっぱいの書架配置や、階下を見下ろす読書スペースとして2階バルコニ

一の増設、スターバックスと蔦谷書店をオープンフロアに併設した。ほとんどのエリアで飲み物の許可をしているなど、利用者の目線に立った施設の改修と運営形態による「ゆるい空間」の演出をしている。市民ニーズに応え、より多くの層を取り込み、来館者数は前年度比で約4倍、図書貸出は約2倍と効果が表れている。

現在、計画を進めている本市の図書情報館についても、今後更なる調査研究が望まれる。

## ■山口県山口市「やまぐち式協働のまちづくりについて」

県庁所在地である山口市は、人口は19万6千人と安城市とほぼ同じであるが、平成17年の1市5町の合併により市域は1,023km²と約12倍となり、県域のおよそ1/6を占めている。高齢者人口の増加や過疎化の進展に対応するため、平成21年に山口市協働のまちづくり条例を制定して、地域ごとに地域づくり協議会を立ち上げ、予算・権限を与え、



担当職員を派遣し、市民と行政、また市民同士が共に取り組む「やまぐち式協働のまちづくり」を 展開している。市内 21 地域が、伝統、歴史、文化などのそれぞれの特性を活かした、個性豊かな地 域社会の実現を目指していた。